

授業科目 **カウンセリング技法(新カリ、社会・栄養以外)**

【担当教員名】 伊東 正裕	対象学年	1	対象学科	理学・作業・言語・スポ・看護
	開講時期	後期	必修・選択	選択・選択・選択・選択・選択
	単位数	1	時間数	15

【一般目標：G10】

対象者の心理的な相談に適切に応ずるために、カウンセリングについて理解し、カウンセラーの基本的態度や基本的技法を習得する。

【行動目標】

1. 心の相談のための面接法(カウンセリング)の意義を述べることができる。
2. カウンセリングの構成要素とプロセスについて説明できる。
3. カウンセラーの基本的態度と倫理について説明できる。
4. カウンセリングの基本的技法について説明し、実際に試みることができる。
5. カウンセリングの展開について説明できる。
6. 専門家(の卵)として、実際に心の相談を受ける準備ができる。

回数	授業計画又は学習の主題	SB0 番号	学習方法・学習課題又は備考・担当教員
1	カウンセリングとは何か カウンセリング学習の意味・目的 カウンセリングの種類、など	1	講義
2	カウンセリングの構成要素 聴くこと・見ること 対等な出会い・専門的關係 ストーリーを読むこと、など	2	講義・実習
3	カウンセラーの倫理と基本的態度 カウンセラーの倫理 共感的理解・傾聴、など	3	同上
4	カウンセリングの基本的技法(1) 信頼関係を築く・受容、など	4	同上
5	カウンセリングの基本的技法(2) 問題の核心をつかむ・明確化、など カウンセリング事例紹介	4	同上
6	カウンセリングの展開 適切な処置・カウンセリングの二つの段階、など	4	講義
7	カウンセリングの実際 ロジャーズの面接から学ぶこと	1～ 6	講義・ビデオ

【使用図書】	<書名>	<著者名>	<発行所>	<発行年・価格・その他>
教科書	面接法	熊倉伸宏	新興医学出版社	2002 1500円
参考書	授業中に紹介する。			
その他の資料	適宜、プリントを配布する。			

【評価方法】 出席状況 レポート	【履修上の留意点】 授業中の実習(紙上エクササイズ)には、積極的に取り組むこと。
------------------------	---

全科共通科目 医療福祉